学校番号	2101

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	全年次 (情報Ⅰ履修済後)
使用教科書	「情報Ⅱ」　（実教出版）						
副教材等	「情報Ⅱ　学習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科情報は、他の教科等の学びとあわせて変化する社会で生きていくための資質、能力を育む教科です。
・情報に関する科学的な見方、考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことをめざしています。
・情報を上手に活用するためのモラルやコンピュータの操作スキルも身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
　様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に起用しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	情報社会	・ソーシャルメディアの特徴について学び、ＳＮＳで起きる炎上を題材に問題点を考える	a: ソーシャルメディアの特徴やＳＮＳで起きる炎上がもたらす影響と炎上が起こる原因について理解している。 b: ソーシャルメディアやＳＮＳの特徴について説明できる。 c: ソーシャルメディアにおける課題について思考し、課題を解決して活用しようとしている。ＳＮＳの炎上や課題に対して主体的に考え、対応策を提案することができる。	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート
		・情報活用と法整備の関係について学ぶ	a: 情報活用に関する法整備について理解している。 b: 個人情報の取り扱いについて説明できる。 ｃ:事象に対して、どの法律があてはまるか提案できる。			
		・情報セキュリティの要素について学ぶ	a: 情報セキュリティの必要性と３要素について理解している。 b: 情報セキュリティの３要素について説明できる。 ｃ:情報セキュリティについて運用例を提案できる。			
		・公開鍵暗号方式を学ぶ	a: 公開鍵暗号方式の仕組みを理解している。 ｂ:公開鍵暗号方式の仕組みを説明できる。 ｃ:公開鍵暗号方式の仕組みについて、レポートに記述することができる。			
		・IoT と AI の技術について学ぶ	a: IoT と AI の技術について理解している。 b: IoT と AI の技術の利用方法を説明できる。			

			c：IoT と AI の技術について、レポートに記述することができる。			
		・クラウドサービスの形態を学ぶ	a: クラウドサービスの形態について理解している。 b：クラウドサービスの形態について説明できる。 c：クラウドサービスを状況に合わせて選択できる。	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート
後半	情報システム	・クライアントサーバシステムについて学ぶ	a: クライアントサーバシステムについて理解している。 b: クライアントサーバシステムについて事例を挙げて説明することができる。 c: クライアントサーバシステムについて、レポートに記述することができる。	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート
		・情報システムの開発プロセスについて学ぶ。	a: 情報システムを開発する際の順序を理解している。 b: 情報システムを開発する際の順序を説明できる。 c: 情報システムを開発する際の順序をレポートに記述することができる。			
	データサイエンス	・データの収集について学ぶ	a：データの収集方法について理解している。 b:データの収集方法について説明できる。 c: インターネットに公開されているデータ、例えば政府統計データ、に興味・関心を示している。			
		・データの整理と変換	a: データの整理と変換について理解している。 b: データの整理と変換について説明できる。 c: 表計算ソフトを用いて行や列の抽出、並べ替え、値の変換、削除や追加などの処理を行うことができる。			

後半	プログラミング言語	・静的なWebページと動的なWebページやJavaScriptを用いてHTMLを操作する方法を学び、コンテンツ演出技術を習得する	a: Webシステムの仕組みを理解している。 b: 動的なWebページを作成できる。 c: コンテンツ演出の特徴を活かした活用方法を考え、コンテンツ作成に活かそうとしている。	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート	実技課題 学習ノート
		・コンテンツの制作について学ぶ	a: コンテンツの制作について理解している。 b: コンテンツの制作案を考えることができる。 c: よりよいコンテンツになるように、適切に運用・改善しようとしている。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度